

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年09月05日

計画の名称	白杵市宅地耐震化推進事業（防災・安全）第2期												
計画の期間	令和06年度～令和06年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	白杵市												
計画の目標	第二次スクリーニング計画で安全性把握の必要性が確認された大規模盛土造成地において、第二次スクリーニングを実施し、結果を公表することで宅地所有者等の自主的な取組みによる被害の防止・軽減につなげ、宅地所有者等の宅地被害に対する関心を高める。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	13	A	13	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R6当初)	中間目標値	最終目標値 (R6末)
1	第二次スクリーニングの結果を公表することにより、宅地所有者等の宅地被害に対する関心を高める。 HP等による第二次スクリーニングの結果公表率を100%とし、宅地所有者等への周知を図る (第二次スクリーニング結果公表率) = (第二次スクリーニング結果公表箇所数) / (第二次スクリーニング実施箇所数)	0%	%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業																						
基幹事業(大)	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況			
												R06	R07	R08	R09	R10						
		一体的に実施することにより期待される効果																				
		備考																				
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	白杵市	直接	白杵市	-	-	大規模盛土造成地の変動 予測調査	第2次スクリーニング	白杵市						13	-				
												小計						13				
											合計						13					

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 臼杵市/都市デザイン課	事後評価の実施時期 令和7年
	公表の方法 臼杵市ホームページに掲載
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第二次スクリーニング計画に基づき、1か所の盛土について第二次スクリーニング調査（地質、安定解析）を実施した。結果の公表を実施することで市民への大規模盛土造成地の最終地と日常的な防災意識の向上を促すことができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
今後は市民（地域住民）と経過観察を継続して行い、安全性の確保に努める。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	$\text{（第二次スクリーニング結果公表率）} = \text{（第二次スクリーニング結果公表箇所数）} / \text{（第二次スクリーニング実施箇所数）}$	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%